

はもち

R8年5月18日編

放課後子ども教室

～地域の力を子どもたちのために～

だより



多くの1年生から3年生までのみんなが集まって、今年も、はもち放課後子ども教室が始まりました。地域ボランティアの支援員のほか、羽茂高校3年生の5名がいっしょに活動してくれました。子どもたちが安心して安全に過ごせる場所として、多世代で交流できるにぎやかに楽しい時間を過ごしたいと思います。

今回は新聞紙を使って「防災スリッパ・かぶと・おうかん」作りに挑戦しました。支援員といっしょに折り方を確認しながら、自分の足のサイズのスリッパを作り上げました。そのあとは、作りたいものを教えてくれる支援員や高校生と納得がいくまでたくさんの作品を作っていました。



～児童受付について～

まだ申し込みをしていない1～3年生もいつでも参加できます

～支援員・地域ボランティア募集中～

支援員登録はQRコードからお申し込みできます。→





【コーディネーターより、ちょっと一言】 今年も多くの子どもたちが登録してくれました。毎年ありがたいことだと思っています。期待にこたえられるようにプログラムを検討してきました。どうぞ1年間よろしくお願いします。

さて、私たちのプログラムの成功のカギはなんといっても『支援員さんたち』の存在にあります。今年度、登録して関わって下さっている支援員の顔ぶれをみたところ 11年目にして初めて子どもや孫が参加していない地域の方々だけで構成されていることに気が付きました。これにも感謝の気持ちでいっぱいですが、引き続き長年活動を共にしてくださっている支援員と、新たにいっしょに活動してくれる支援員仲間を探しながら、活動を進めたいと思っています。ぜひ、1度でもよいのでいっしょに活動していただけませんか？羽茂小の子どもたちは、みな自分の子ども孫のように思って…。